

植物名稱問答

○植物名稱問答

理學博士 白井光太郎

私ハ近比或人ヨリ左ノ如キ質問ヲ受ケテ左ノ如キ答ヲ致シマシタ古書ヲ讀マル、人ノ參考ニモナランカト貴誌ニ掲載セラレンコトヲ乞フ尙誤答ニ氣付カレタル方モアラバ御注意アランコトヲ願フ

水谷豊文木會採藥記中ノ文字

- (1) 水胡椒ノ一種 葉ニ岐多ク莖高二尺餘ニ至ル ○オトコゼリノ類ニ候ヤ
- (2) 水蓑葉敗醬 キンダンクワ ○白山オミナヘシノコトニ無之ヤ
- (3) 淡祀姑 上松ノシヤウリシマノ産上品ナリ ○祀ノ字杞ノ字トモ見エル書體不明
- (4) ミユギユエツト
- (5) 玉宿草 ギョクシュクサ
- (6) 丁字ギキヤウ
- (7) カヲリ升麻
- (8) 伊吹升麻
- (9) 錦雞兒 方言ウケヒスカヅラ
- (10) 而シテ別ニ驢駝布袋 方言ナハシロケミ(一所ニ)方言シバトリケミ(他所ニ) アリ
- (11) アカヅル
- (12) 大葉アカヅラ
- (13) シンノロ
- (14) ワウレンジュ 方言カハラウツギ ○ドクウツギナリヤ
- (15) 菊葉ヤクシサウ
- (16) ルリテウサウ
- (17) ガベ 方言タンベイサウ ○ガベトハムシカリト存ズレドモ
- (18) ワルメーステル
- (19) ロ、 ○或ハローカ書體不明
- (20) 玉毬花 方言ケンカノシリモチ ○マツムシサウニテハ無之候ヤ
- (21) タブリサウ ○コシホガマギクナ

(22) アキウメバチ

ランカ

○コレハ白鬚サウノ

(23) シノハチレンダ

羊齒ノ類ニテ一葉ノ長三尺許スリバチノ
形ニ四方ヘ一科ヨリ叢生スシノハチハス
リバチレンダノコトナリ

○何物ニ候ヤ

(24) 白花ノヤマワラ

○ヤマワラハ松ノ木

ハダト聞及候然ラバ

ミヤマホツ、ジニテ

右 答

(1) 有毒草木圖説ニ水胡椒ヲきつねのぼたんニ充ツサレバ葉ニ岐多キトアレバおとこぜり又ハこきつねのぼた
んノ中ナルベシ

(2) ハクサンオミナヘシ一名キンダンク、草木名寄ニ出ヅ

(3) 淡祀姑ハ普通煙草ヲ淡把姑ト書スル事アリ是ナルベシ

(4) ミギユエツト 木犀草一名にほひれせだノ事ナラン レセダオドラタノ名草木名寄ニ出ヅ此比舶來アリシナ
ラン

(5) 玉宿草 岩崎常正ノ救綱外篇ニ ムカゴ蓐麻一名玉宿草尾州トアリ

(6) 丁字ギキヤウ 是ハしでしゃじんノ一名ナリ

(7) カヲリ升麻 物品識名ニみづつぎ升麻一名せりもどきアリカヲリヲ香氣ノ事トスレバせりもどきナランカ

(8) 伊吹升麻 此條未詳いぶきせりもどきトイフ草アリコレナランカ

(25) 山蔓菁 キクナ

モ候哉或ハ白花ノホ
ツ、ジノコトニヤ○救荒本草ノ山蔓菁
ハ普通ノまつむしさ
うニ充ツキクナハシ
ユンギクノ事ト聞及
ビ候ガイカバ

植物名稱問答

- (9) 錦鶏兒 舊本草家ハつくばねうつぎ一名こつくばねニ此漢名ヲ充ツ
- (10) 驢駝布袋方言ナハシログミ ハうぐひすかくらノ事ナリ上總ニモ此方言アリ
- (11) アカヅル ハあかねかづら一名行者かづら一名くろづるノ事ナランカ
- (12) 大葉アカヅラ 木曾ニテあかづらト云フハ糸ごのきノ事ナレバ大葉あかづらハ小白雲木カ小白雲木カノ中ナルベシ併シ白雲木ハひとつば、おほばちしヤ等ノ方言アレバ是ハ小白雲木ナルベシ
- (13) シンノロ 未詳是ハ シンノローロ カ シンノロウバイ カノ誤寫ニ非ズヤト思ハル
- (14) ワウレンジュ 物品識名ニわうれんじ一名どくうつぎノ名出ヅ
- (15) 菊葉ヤクシサウ 是ハ藥師草ノ缺刻深キ個體ト存ラレ候
- (16) ルリテウサウ 是ハらしやうもんかづらノ一名ナリ救綱外編ニ出ヅ
- (17) ガベ ムしかりノ事ナリ日光ニテ加藤吉藏トイフ案内者越後生レノ樵夫ナリシガおほかめの木ヲたんぺいさうト呼ベリ木曾探藥記ニハがぺ一名きをむしかりト記シアレドモみづあふト云フ木ニモむしかりノ方名アレバ區別ノ爲木曾ノ字ヲ加ヘシナルベシ
- (18) ワルメーステル 是ハクルマバサウノ事ナリ獨逸ニテ ワルドマイステル ト唱フ
- (19) ロ、漏盧ノ事ナランひごたいもどき、ひきよもぎ等ノ漢名トス本草啓蒙參照アリタシ
- (20) 玉毬花 蘭山ノ花彙ニまつむしさうノ漢名トセリ
- (21) タブリサウ 岩崎氏救荒本草通解ニこしほがまノ一名ニたぶりさうヲ掲グ
- (22) アキムメバチ 本草要正ニむめばちさう一名あきむめばち一名のむめトアリ
- (23) シノハチレンダ 田中氏羊齒分科名彙未檢品ノ部ニしのはちれんだ一名おにしだトアリ大和本草批正ニ大和本草ノおにしだヲいぬがんそくニ充ツ犬がんそくハ田中氏ノ羊齒分科名彙ニ一名へびのせった一名いぬ

くさそてつ一名へびがんぞく一名おほかぐまトアリ植物名鑑ニおほくさそてつト出ヅ是ナルベシ

(24) 白花ノ山ワラ 普通ノ山わら即ほつゝじは枝ヤ萼紅色ナレバ紅花ト看認シみやまほつゝじヲ白花ト云ヒシナルベシ

(25) 山蔓菁 和名ヲさくなくトイフ者よめな、まつむしさう、しゅんぎく等アリ此處ノさくなくハまつむしさうニ必セリ此ニ山蔓菁ヲ充テシハ水谷氏ノ思ヒ違ヒニテ山蘿蔔ト書ク可キヲ連想ヨリシテ山蔓菁トセシナラン別ニ玉毬花ヲまつむしさうニ充テ掲ゲアレドモ是ハ別名ヲ採用シ名ヲ互ニ換ヘ用ヒシ事ト思ハレ候

以 上

○分類學ノ優越性ヲ高唱スル

久 内 清 孝

現行刑事訴訟法第三百三十三條ニハ「被告人ニ對シテハ先ヅ其人違ナキコトヲ確ムルニ足ルベキ事項ヲ訊問スベシ」トアルカラ公判ニ際シ裁判長ハ被告人ノ原籍住所氏名年齢其他ヲ訊問スル例ニナツテ居ル然ルニ或被告人ハ之ヲ形式的ノ訊問ト早合點シシナコトハソツチデヨク判ツテキルダロウナドト裁判長ニ劍突ヲ喰ハシタリスルコトノアルノハヨク新聞ノ社會記事で見ル所デアル、一般植物學ノ事項ヲ處理スルニモ此ノ刑訴百三十三條ノ規定ト同一ノ手續ヲ經ナケレバナデナイノデアルガ其手續ハトリモナホサズ先ヅ分類學的ノ調査ヲスルコトデアルサレバ植物分類學ト云フモノハ一個ノ獨立シタ一分科デアルト同時ニ植物學ノ各分科ニ對シ絶對的權威ヲ持ツ學科デアルト言フコトガ出來ル即チコニ分類學ノ優越性ガ存スルノデアル

元來植物分類學ハ植物學ノ本體デアツテ他ノ分科、例セバ生理、解剖、細胞、地理、形態等ノ學ハ分類學ヲ基調トシテ其上ニ、又ハ之ヲ圍繞シテ發展シ行クベキモノデコレハ東西ノ植物學發達ノ歴史ノ上カラ見テモ當然ノ